

**第5章** 基準局と移動局の受信波の位相差を計算したり、位置精度を表示したり

# RTK 移動局の準備②

## 多機能測位アプリRTKLIBの初期設定

u-center と ZED-F9P に内蔵されている RTK 演算用エンジンを 使うことで十分に測位は可能です。しかし、ログの取得やグラフ表示などの要求が出てきたら、“RTKLIB”というアプリケーションを使います。

RTKLIBの主体は、基準局と移動局の観測データを突き合わせてRTK演算を行うユーティリティです。RTKLIBのライブラリを使うと観測データを伝送したり、測位結果や観測データをプロット表示したりできます。

RTKLIBはWindowsパソコンやラズベリー・パイで動作するオープン・ソースとして公開されています。東京海洋大学の高須 知二先生が10年以上の歳月を費やして構築してきた大変貴重なライブラリです。

〈編集部〉

### STEP① RTKLIBのインストール

本章ではWindows10でRTKLIBを動作させます。

まず、RTKLIBをGitHubからダウンロードします。www.rtklib.comへ行くと、図1のようにダウンロード・ファイルの一覧を見ることができます。2019年7月現在で、2.4.2p13と2.4.3b32がリリースされています。2.4.2は安定バージョン、2.4.3は開発中バージョンで、機能が少し異なります。

今回は2.4.3b32を使ってみます。リンクをクリックすると、図2のGitHubの該当ページに飛びます。ここで[Clone or download]を押します。ダウンロード・フォルダにRTKLIB\_bin - rtklib\_2.4.3.zipができるので、展開するとbinフォルダの中に一連のプログラム群があります(図3)。RTKLIBに含まれる主要なプログラムの名前と機能を表1に示します。

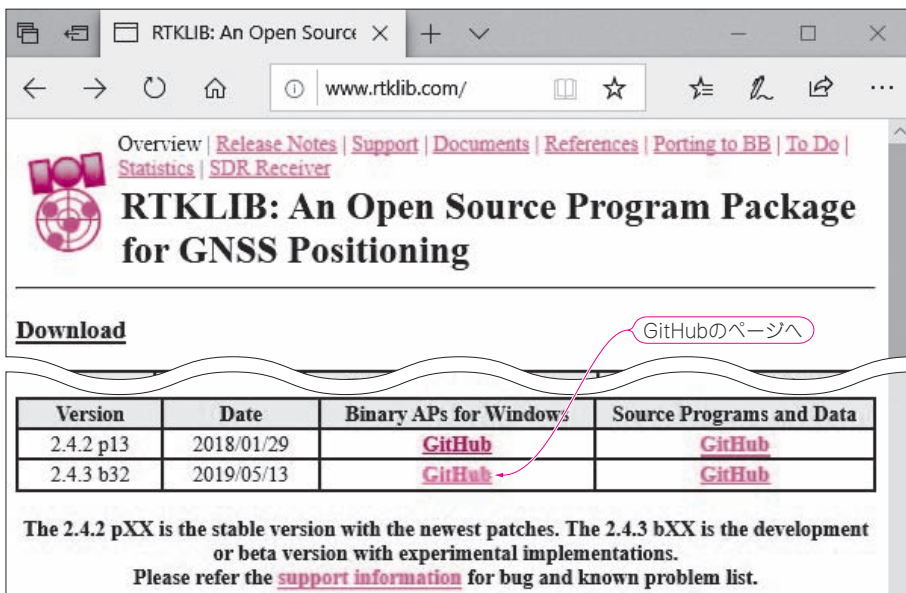


図1 RTKLIBのダウンロード・サイト

RTKLIBはWindows上で動作させるのでBinary APs for Windowsからダウンロード

図2 GitHubからRTKLIBをダウンロードする

[Clone or download] を選択して所定のフォルダにダウンロードする



このボタンをクリックしてさらに[Download ZIP]をクリック

【セミナー案内】 [実習セミナー] [ビギナー向け] [演習あり] 初めてのアナログ回路設計講座：

高精度A/D変換の極意(その1)  
—— アナログ信号を正確に数値化するための関連知識強化セミナー

【講師】 中村 黄三 氏、10/2(水) 25,000円(税込み)、https://seminar.cqpub.co.jp/